

近畿第二ブロック

昭和五十八〜平成二年
ブロック長

松野 隆 一様



大阪市中央公会堂に於いて、淡交会青年部の三ブロック発足記念総会が午後一時より坐忘齋御家元御臨席のもとに盛大な式典が行われました。

このように正確に書けるのも、実は大阪四支部青年部の二十周年記念誌が発刊されたからであります。当時の記念誌作成プロジェクトチームリーダーの中谷庄八氏のご尽力の賜物で、小林宗白委員長以下の各支部青年部の方々のご努力があればこそと、今振り返って懐かしく思い出されます。

さて、当時を思い出すと、井上良昭先輩から突然呼び出しがあり、昼食をおごるから集まって欲しいと言われたことから、裏千家淡交会との出合いが始まりました。私は大阪青年会議所の現役ですから、先輩の呼び出しに行かない訳にはいきません。しかし、何で呼び出されたのかわからないままフランス料理を賞味しま

した。その4人は中谷氏、水山章氏、盛清久氏と私でした。井上氏から趣旨説明があり、裏千家の組織を強化するためJCのような組織を整備を進めたいから力を御貸し願いたいとのことでした。そして何もわからぬまま、東は私、西は水山氏、南は中谷氏そして北は盛氏と指名があり、全員それに従い活動を開始したことを懐かしく思い出します。(私は当時三十七歳、JCの現役で、茶楽会の会長、私だけ卒業時(四十歳)の薄茶点前がでずに四十一歳まで会長を務める羽目になる落第生でした)

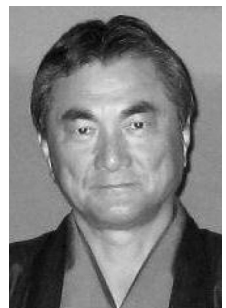
“光陰箭の如し”といいますが、昭和五十三年青年部が四支部に分割され、「緑の茶会」を大阪城西の丸庭園で開催し、その基金を大阪市の緑化基金として「枝垂れ桜六本」記念植樹しました。大阪城天守閣正面が見える公園の噴水前に毎年美しい枝垂れ桜を見ることができず。若木が成長して三十数年の老木となっています。是非来年四月に見に行つてやって欲しいものです。

そして、私が懐かしくそして今でも当時の御世話になった方々を思い出すのは、「日中友好文化交流裏千家親子青年の船」に、団員の一人として参加したことが忘れられません。三ブロック長(大山、松野、前田)と共に、天津、北京、青島を「日本丸」に乗船し訪問したことです。船中での茶会、特に中尾宗勢氏には大変お世話になりました。訪問先の人民大会堂での茶会など苦労したことは沢山ありましたが、他の支部の親先生方の奮闘ぶりには感銘を受け、それに刺激を受け青年部も負けてはいられないと頑張った記憶が懐かしく思い出されます。当時にご一緒頂いた親先生方も他界された方も多く、茲に謹んでご冥福と感謝の御霊を捧げたいと思います。

最後に、私たち青年部の人は、『二盤からピースフルネスを』のテーマのもとに、それを具現化するための活動を今後も続けて頂きたいと強く願っています。混迷する世界情勢や社会状況の中、このテーマこそ世界共通の基盤になりうる理念ではないかと現在でも思っています。鵬雲斎大宗匠の提唱されたテーマは、二十一世紀に於いてもお隣の中国・台湾とも友好の絆を育んでいける民間友好の懸け橋となると考えます。どうぞ末永く青年部のご発展と益々のご活躍を祈念しております。

平成三年〜六年
ブロック長

池田 周 弘様



近畿第二ブロック三十周年を心よりお慶び申し上げます。

私が、ブロック長をつとめました平成三年から平成六年は、淡交会青年部が誕生して四十年が経ち、二十一世紀を展望し、自分が主役となる、新しい時代に即応した青年部づくりが進んでいた時代でした。

平成四年「新青年部発足」、ブロック二十五周年記念「事業青年奉仕隊」として、大勢の親支部先生と共に台湾を訪れ、円山大飯店で台湾政府の要人を招き大茶会を催し友好親善を果したことが、平成五年「近畿第二ブロック十二青年部合同発会式」を、当時若宗匠であられた坐忘齋御家元、故伊住宗晃宗匠をお迎えして盛大に開催したこと、平成元年関西空港開港記念、環太平洋ヨットレースロスコーズのスタートのセレモニー、「日本文化との出逢い、ロサンゼルス大茶会」をロサ

ンゼルス支部と共に行つたこと、数々の楽しい思い出で飾られた充実したブロック長時代をおくらせて頂きました。

親支部先生のご支援、ブロックスタッフの献身的な活動、青年部会員の積極的な取り組みが、大きな成果をもたらしたし、ブロック発展の礎となる当ブロックの伝統は、秋山初代近畿第二ブロック長、中谷初代近畿第二ブロック長の時代から脈々と受け継がれて参りました。

坐忘齋御家元、鵬雲斎大宗匠のお導きのもと三十周年を契機として、良き伝統を築いてきた先人の尽力に思いを巡らせ、青年部の皆さんが一層精進され、茶道の素晴らしさを実感し、青年部での友情を構築し、お茶の心の啓発を中心とした時代に即応した活動をされますように期待しています。

私たちが青年部で得た素晴らしい体験を青年部の皆さんに、是非味わってほしいと願っています。

